

横前倉山スキー

10.2.7(曇り後晴れ)

メンバー:菊地

前日は夜中まで風雪が吹き荒れていたが、朝には雪は止み麓では所々青空も見えているが、山にはまだ雲がかかる。天候の回復を期待しつつ梅池スキー場から歩き出す。ここ数日間で相当量の降雪があった様で、ゲレンデ関係者によると昨日近くで雪崩があったので注意してほしいとの事。トレースは無く天狗原までラッセルが続きしこたま汗をかかされる。

天狗原に上がるとまだ強い風が吹き荒れていて掻いた汗が一気に体温を奪っていく。風の避けられる場所で休んでいると雲は何処かに消えピーカンとなり一気にテンションも揚がる。広くて緩やかな源頭から唐松沢に吸い込まれ、青空の下申し分ない底なしディーブパウダーを味わう。途中の滝も完全に埋まっていて沢通しに滑る事が出来た。1600m付近から風吹大池に登り返す予定だったが、雪の状態を考えかなり手前の方でシールを付け尾根に戻る。

なだらかな尾根を暫く進むと目的の横前倉山は目と鼻の先で、まず風吹大池に降りるのだが、標高差50m程なのでシールを貼ったまま直滑降で降りるがかなりスピードが出てジェットコースター気分が味わえた。更に隣の池も縦断し岩のゴツゴツした岩菅山と

の科尔へと登り返す。そこら中に良さそうな斜面が広がり思わず1本滑りたくなるが、日帰りなのでそうもいかず横前倉山を目指す。20分程で山頂に登り更にドロップポイントに移動。

スキーを外すと足が何処までも潜ってしまう。待望の北東斜面に滑り込むが、唐松沢に比べると多少雪質は落ちるが適度な傾斜の大斜面に心が躍る。大斜面を堪能したら、1250m付近から登山道のある小尾根に乗る。地図にも温泉マークがあったが、沢から温泉の臭いが立ち上ってくる。林道が近くなると再び尾根は広くなり、林道はショートカットしながら最後の滑りを楽しむ。

南俣沢を潰れそうそうな程雪の積もった橋で渡ると林道は緩やかな上りになり、僅かの間シールを貼る。下り勾配に変わった所でシールを剥がすと丁度頸城の山々が見渡せた。更に林道をカットしながら滑って行くと沢入の集落に出てツアー終了。結構長い工程で何度もシールを貼ったり剥がしたりがあるのでツアー気分になれる良いコースだと思いました。

コースタイム:梅池ゴンドラトップ8:55
~天狗原10:35・11:15~風吹大池13:10・13:35~横前倉山14:10・14:25~沢入16:40

地形図:白馬岳、雨中